

OLYMPUS

OLYMPUS
Pen

D



オリンパス光学工業株式会社



ペンカメラの決定版 オリンパス ペンD

ペンDをお買い上げいただき有難うございます。

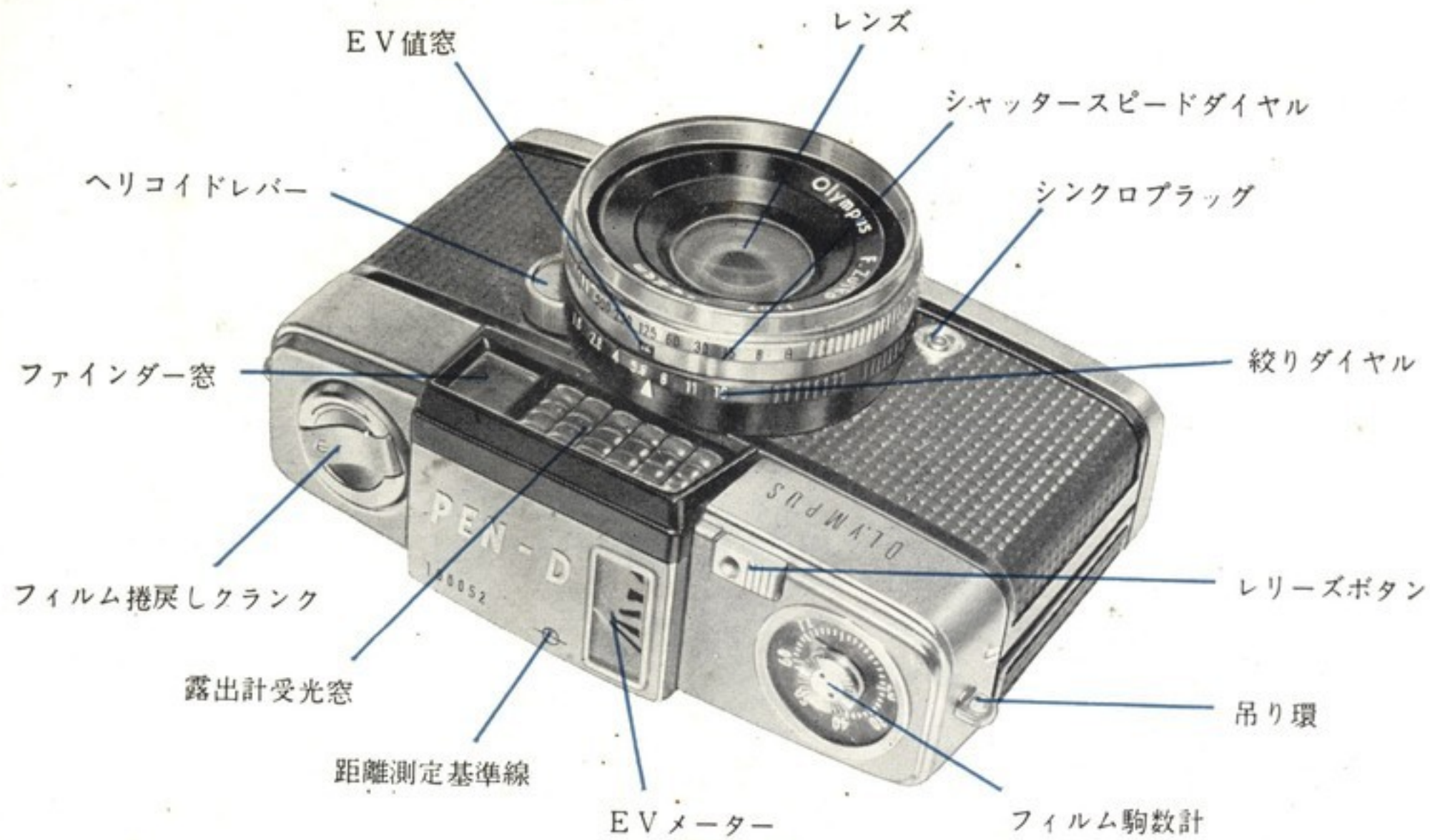
ペンDは、現在オリンパスが発売しておりますペンシリーズの中では最高級のデラックス・ペンカメラです。

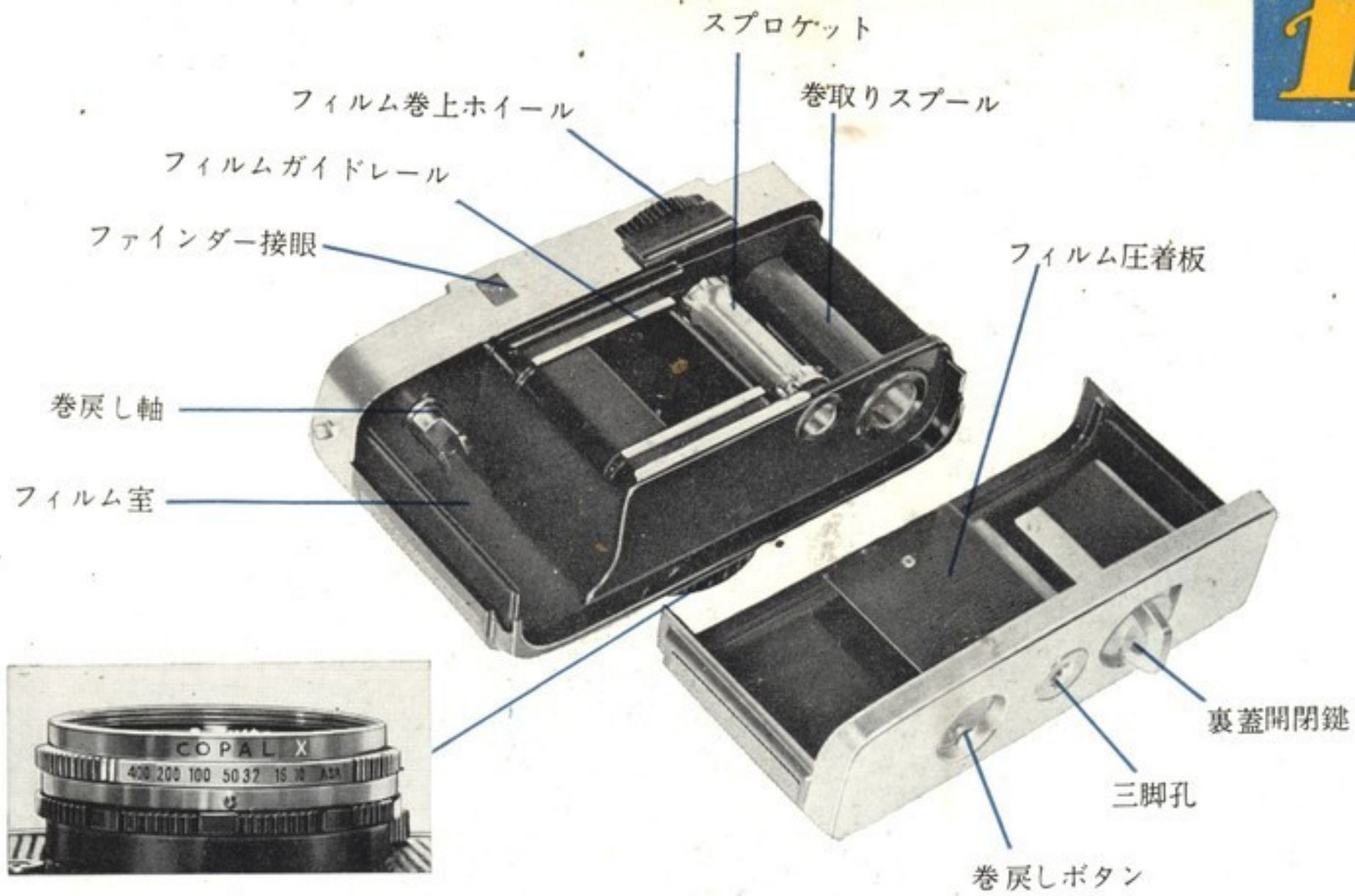
持ち歩きに便利な機動性と、高級カメラの性能を同時に味わうことができる魅力あふれたカメラといえましょう。

あなたの無二の親友として、心ゆくまで使いこなして下さい。

D

各部の名称





D

Fズイコー F1.9 f=32mm



F 1.9 前後のレンズの明るさは、レンズシャッターカメラでは最高の明るさです。

ペンDには、デラックスの名にふさわしくランタンクラウン系新種ガラスをたっぷり使った**6枚4群**のぜいたくなレンズを採用しました。

従来のもものより20%も薄く、効率の高い5枚羽根プロンタータイプシャッター精巧なボディ機構が、Fズイコーの描写性能を最高度に発揮します。

- ペンサイズでの32mmは、ライカサイズでは約45mmに相当します。
- レンズ構成図の斜線の部分は新種ガラスです。

D

フィルム・サイズ

フィルムは、どこでも手に入る**35ミリフィルム**がそのまま使えますし、またそれが今までの2倍写せることも、大変に便利で経済的といえましょう。

撮影画面：24ミリ×18ミリ（ライカ版の $\frac{1}{2}$ ）

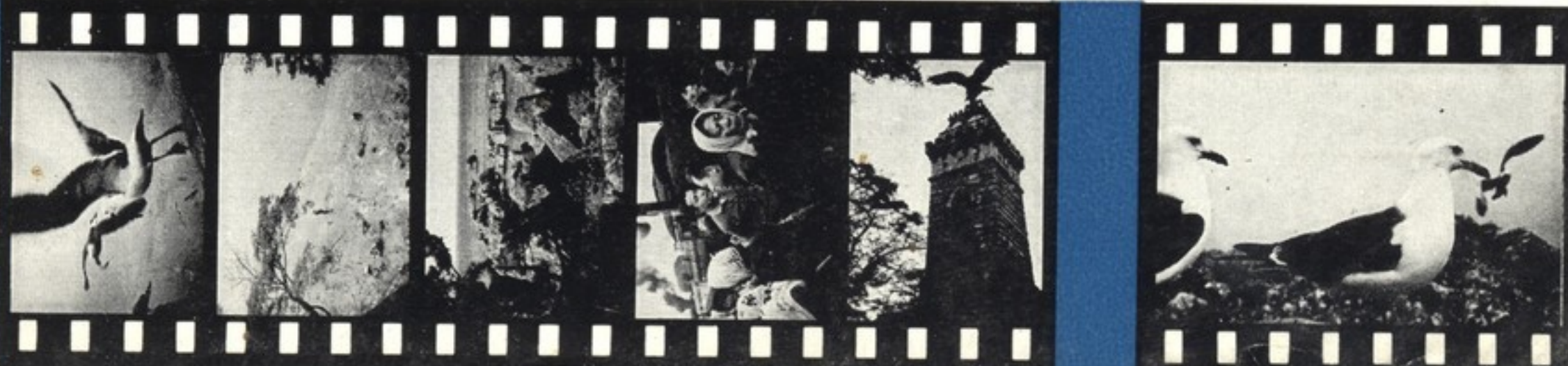
36枚どりですと**72枚**

20枚どりですと**40枚**写せます

カラースライドはフィルム現像の際フィルムメーカーでマスクをしてくれますので、普通のプロジェクター（投影器）でカラースライドが楽しめます。

（ペンサイズ）

（ライカサイズ）



フィルムの入れ方

① 裏蓋をとり外します。

写真のように、カメラを左手にレンズが下になるようにしてもちカメラ底部の開閉鍵をおこし、矢印の方向に止るまで廻します。

② 次に、左手の親指で裏蓋を押し下げながら、右手で、すっと裏蓋を引き下げますと楽にはづれます。

③ 次にフィルムを写真のように右手に持ち

直射光線下で、フィルムの出し入れは

カメラを左手に持って、巻取スプールの溝にフィルムの先を充分差し込みます。

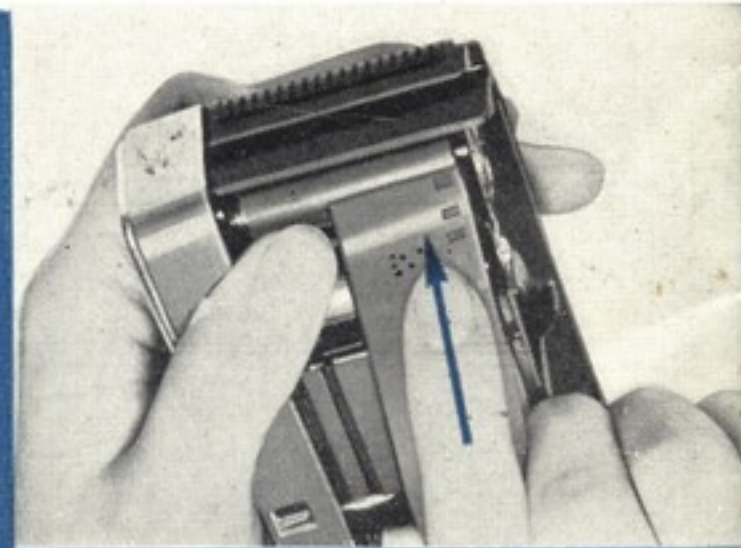
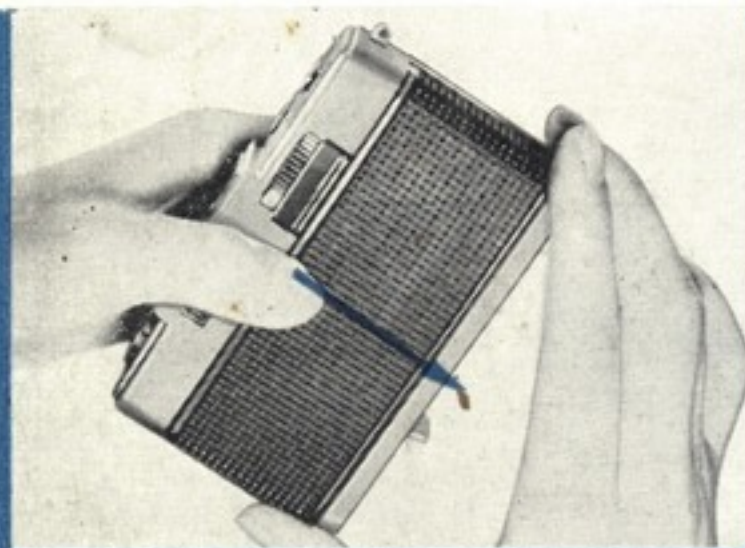
スプールは回転しますから、指先で廻して溝を差し込み易い位置に直しておくくと楽に差し込めます。

パトローネまたはマガジンを、フィルム室に収めます。その際巻戻し軸の溝にパトローネまたはマガジンの溝がカッチリはまるよう

●開閉鍵をおこして廻す

●裏蓋を引いて取りはずす

●フィルムの先端を差し込む



やめましょう

にします。

次に巻戻しクランクを少し巻戻し方向に廻し、スプロケットの歯にフィルムの右側の孔がかかるようにします。

この状態で、さっきと逆の方法で裏蓋を閉じます。

ここで念のため、巻戻しクランクを廻してフィルムのタルミをとり、今度は巻上ホイー

ルを止るまで廻して3度空写しをしてみましよう。その時巻戻しクランクが逆廻転すればフィルムが正しく巻上げられていることになります。

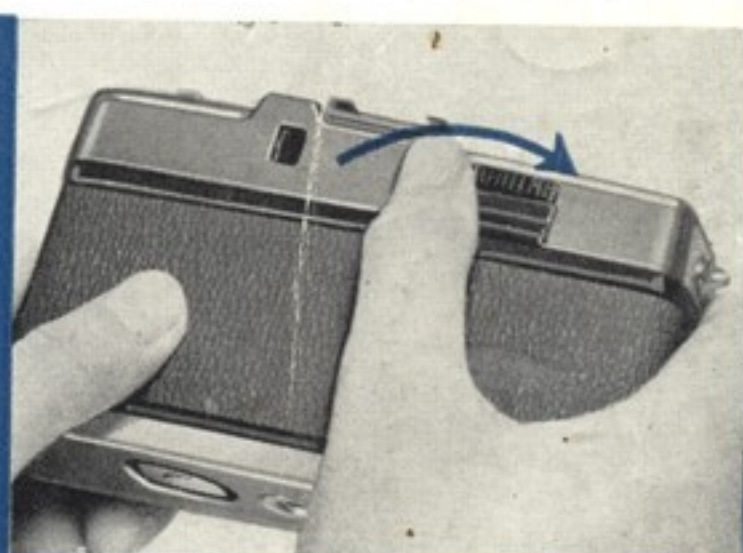
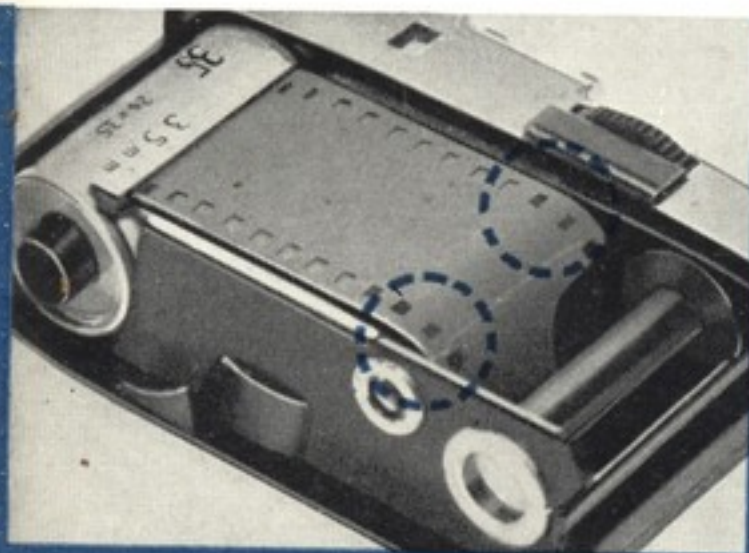
ASAダイヤルを合わせます。

使うフィルムの感度と同じ数字がASA指標に合うところ（クリックで止まる）までツマミを廻転します。

●フィルムのタルミをとる

●3度空写しをする

●ASAをあわせる



フィルム駒数計を合わせます。

親指の腹で、フィルム駒数計上のツマミを抑え、写真の矢印の方向に廻し▲の指標を装填したフィルムの長さに合わせます(例えば36枚どりなら72に、20枚どりなら40に)。次に巻上ホイールを止るまで廻転しますと、第1回目の撮影になります。

フィルム駒計数は残数式で残っているフィルム枚数を示します。



巻上ギヤを止るまで廻しますと、フィルムが1駒分巻上られると同時に、シャッターがチャージされます。

つまりフィルムを巻上げてシャッターを切るという2動作で撮影ができる訳です。

この方式をセルフコッキング・システムといいます。

また、巻上ギヤを止るまで廻転させないとシャッターは切れません。又1度シャッターを切った後で、フィルムを巻上げずにシャッターを2度切ることにはできません。これを二重露出防止装置といいます。

フィルムの巻戻し

撮影が終わったらフィルムを巻戻します。

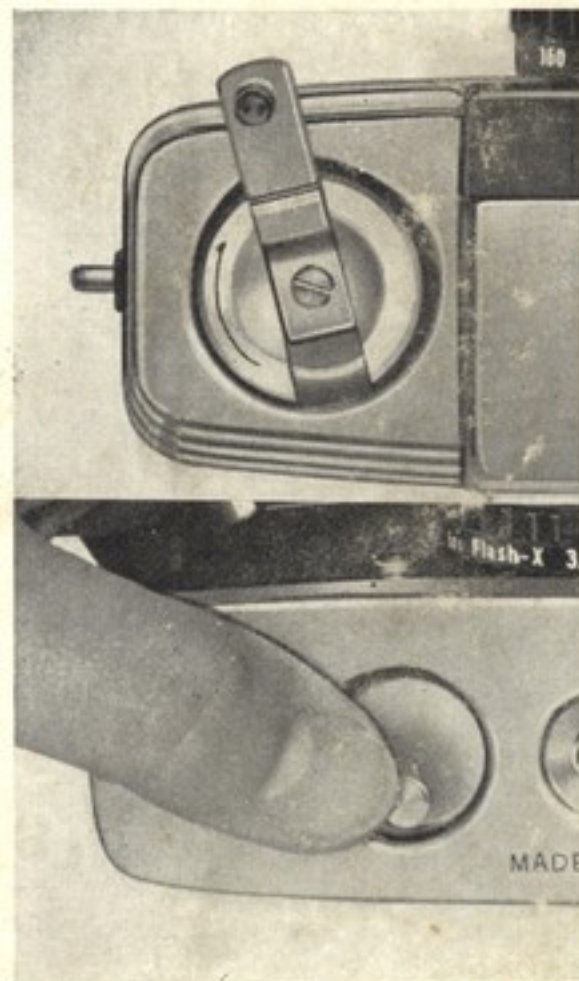
撮影が終わったかどうかは、フィルム駒数計が0になった時で分ります。

巻戻しクランクを起し、カメラの底部にある巻戻しボタンを押しながら、クランクを矢印の方向に廻します。

フィルムを巻戻している間は、クランクが重く感じますが、フィルムが巻取られスプールからフィルムの先端が外れると急に軽くなります。

こうして巻戻したら直射光線の当たらないところでフィルムを取り出して下さい。

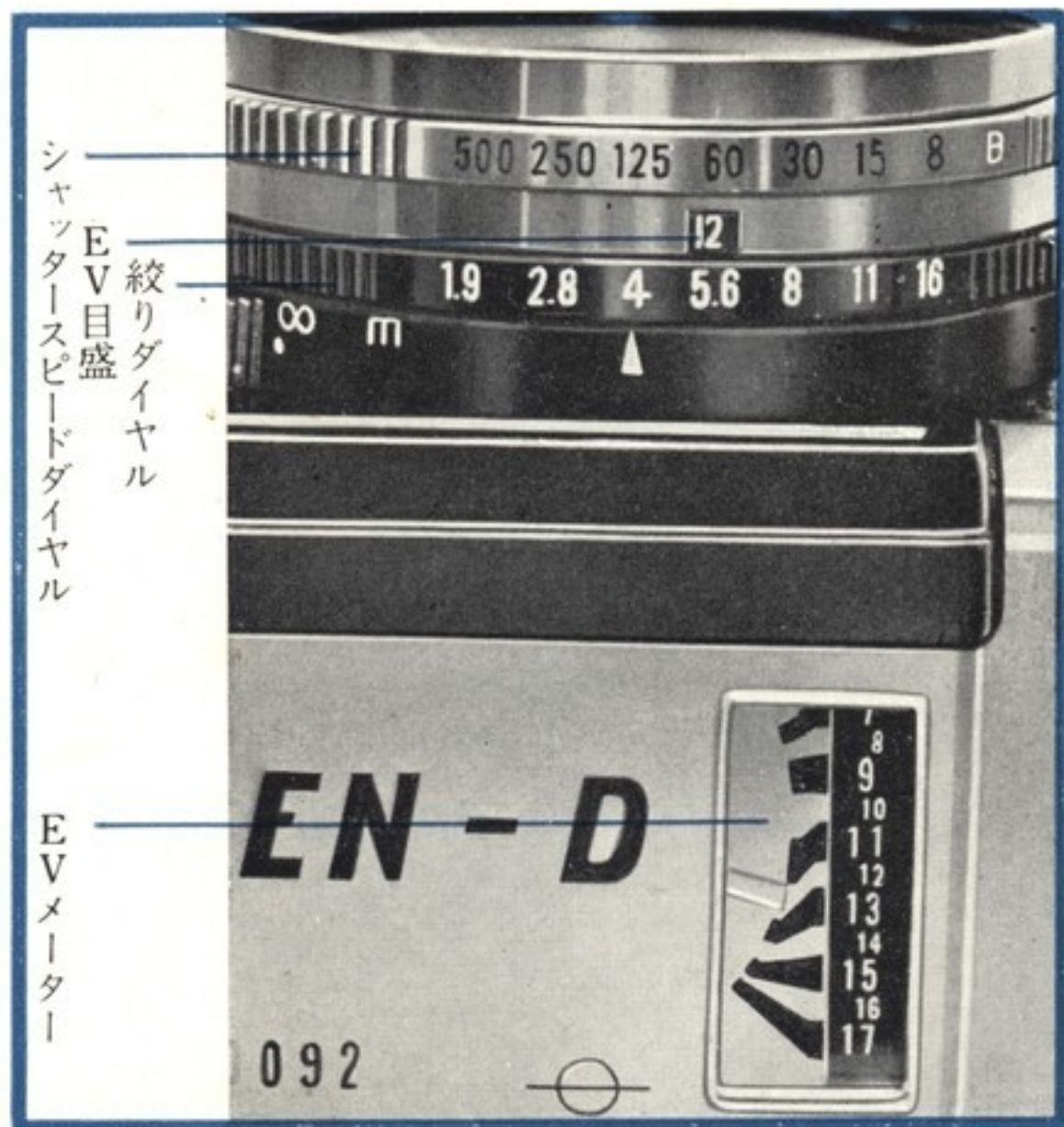
フィルムが終りになって巻上ホイールが途中で動かなくなる場合があります。キップをレンズにかぶせ、そのまま同様な方法で巻戻して下さい。



ペンDの露出調節

ペンDに内蔵された露出計は、簡単なEV目盛付のもので、どんなフィルムを使っても、メーターの針が示す数値（EV値）をシャッターダイヤルの窓に出してやれば、適正露出で撮影ができる独特のすのです。

EV値というのは、露出を決定する3つの要素——絞り・シャッタースピード・フィルム感度——を含めて決められる数値です。



シャッタースピードダイヤル

EV目盛

絞りダイヤル

EVメーター

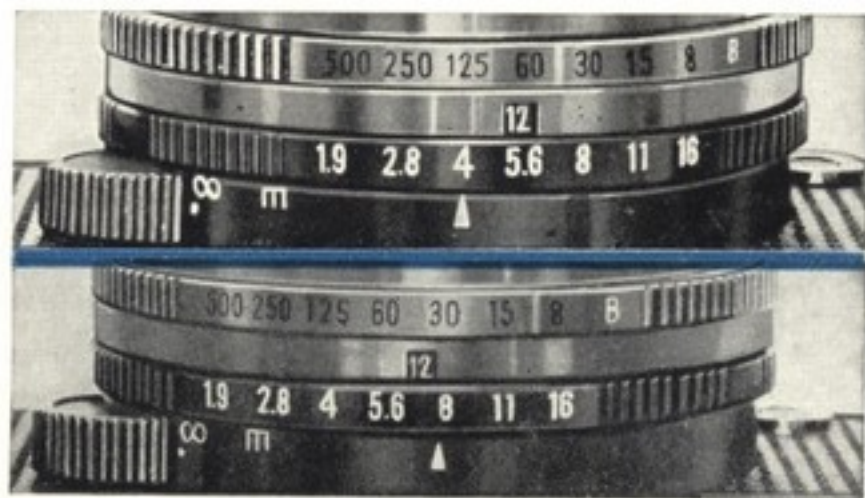


先づ写そうと思う被写体にカメラを向けて、露出計窓の赤い指針が指すEV目盛数を読みます。

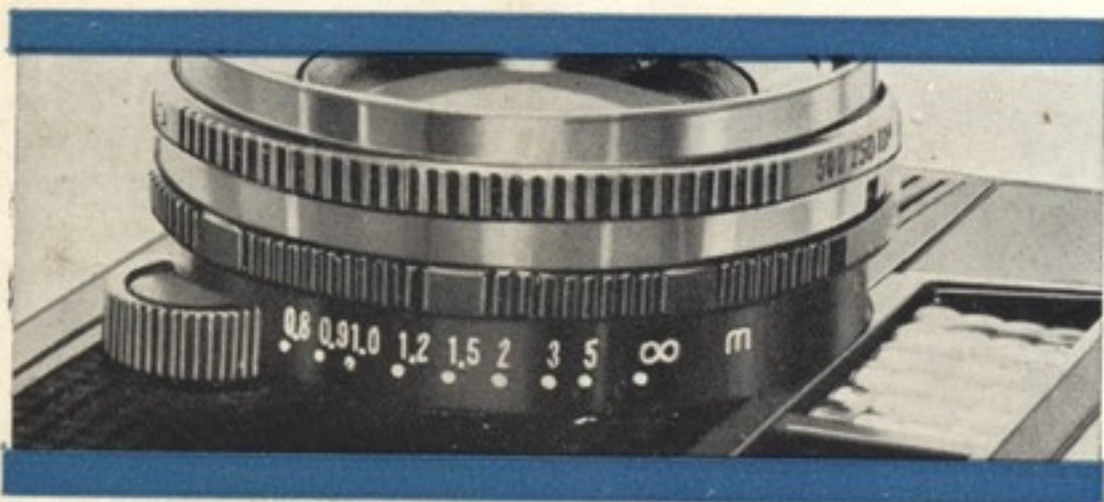
そのEV数値が、シャッターダイヤル上の小窓に出るように、シャッターダイヤルと絞りダイヤルを廻転してやります。それで適正露出が得られる訳です。但し赤字の(B)は、バルブ露出(1/8秒以上の長時間露出)の時だけに使いますから注意して下さい。

EV数値は7~17で、ASA 100のフィルムを使った場合、露出計で測定できる明るさの範囲は、F1.9(開放)・1/30秒~F16・1/500秒です。

シャッタースピードや絞りを変えたい時もし、こうしてきまったシャッターや絞りを変えて撮影したい時は、シャッターダイヤルと絞りダイヤルを一緒につまんで回転すれば、適正露出のまま自由に変えることができます。



ピントの合わせ方



ペンDのピント合わせは目測ですが、レンズの性能を最高度に発揮する直進ヘリコイド方式を採用しました。

距離目盛はメートルで、0.8 mの最近接、∞の（無限遠）と、1.2 mの近接常焦点、3mの一般常焦点（共にクリック・ストップ）を加えた4点調節が速写に偉力を発揮します。慣れれば、手の触覚でピント合わせができるようになります。

勿論、正確なピント合わせもできてきます。

- 距離目盛はレバーの上部であわせませす。
- 常焦点については、20頁・21頁を参照。

カメラ上部の印は、距離測定基準線で、この真下にフィルム面があります。正確な距離合わせは、ここから行います。



ファインダーを覗いてみましょう

ファインダーは、明るく見易い**光枠ファインダー**です。光枠の特長は、写したいものの構図が簡単にまとめられること、覗く眼の位置が少しづれても、被写体を確実にキャッチできることです。撮影の時は、写したいものが光枠の中に、なるべく一杯に入るようにします。

パララックス（視差）匡正指標

1 m以内の**近接撮影**の場合には、光枠の内部の小さな指標がかこむ範囲（写真の黄色の部分）に写したいものが入るようにして撮影して下さい。



カメラはしっかり構えましょう

小型カメラは、写ルフィルムサイズが小さいため、大きく引伸すには、手ブレのないことが大変重要です。

小型で片手操作のできるものが、軽快なペンカメラの特色ですが、カメラになれるまでは写真のように両手でしっかり構えて下さい。

レリーズボタンの押し方は、立てておしますと、どんなに両手でしっかりカメラを構えても手ブレしがちですから指の腹でしづかに押して下さい。

もう一つ注意していただきたいのは、レンズの前方に指その他の邪魔物を出さないことです。カメラが小さいので知らぬ間に指や皮ケースの一部が、レンズの撮影する角度の中に入りこむことがあります。構えた所を前からご覧になって注意して下さい。

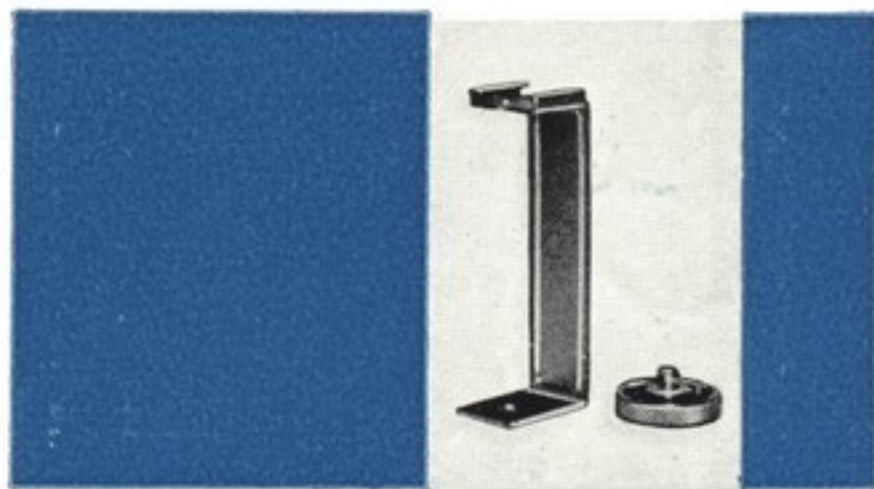




撮影の時の 注意

- ① 小型カメラは、手ぶれを特に注意して下さい。その為には前頁のように、しっかり構えることです。
- ② ペンDの鏡銅は、非常に低くなっています。その上レンズの口径が大きく写角が広いので、構えた時に指がレンズにかぶらないように注意して下さい。皮ケースをつけて撮影する時も同様です。
- ③ 逆光（光源に向って）で撮影する時は、レンズに光線が直接入らないよう注意して下さい。この場合は専用フードを使います。
- ④ フィルムの種類、光線の強い時、紫外線の多い場所、表現方法などいろいろな条件によっては、それらに合ったフィルターを使うことも大切です。
紫外線防止に使うUV・1Aフィルターはレンズ保護用にもなります。
- ⑤ 撮影しない時は、レンズキャップを必げつけておいて下さい。

フラッシュの使い方



ペンDにフラッシュガンを取りつける時には、このガンホルダーを使います

ペンDのシンクロ接点はX接点です

まず使うフラッシュの種類によく注意して下さい。次の3種があります。

- (a) ストロボライト
- (b) M 球 } フラッシュバルブ
- (c) F 球 }

シャッタースピードの選び方

- ① ストロボライト使用の場合
シャッタースピードはどれでも結構です。
- ② Fクラスのバルブ使用の場合シャッタースピードは $1/8 \sim 1/60$ の中から選んで下さい。
- ③ Mクラスのバルブ使用の場合
シャッタースピードは $1/8 \sim 1/30$ の中から選んで下さい。

絞りの選び方

ストロボライト及びバルブ指定のガイドナンバーを被写体迄の距離で割ってその値を絞りにセットして下さい。

(例えばASA 100のフィルム、シャッタースピード $1/60$ 、距離5m、バルブのガイドナンバー35なら $\frac{35}{5}$ 即ち7ですからそれに近い絞り8を使用して下さい。

フィルターを使う時

フィルターは43mmねじ込みの専用フィルターUV、スカイライト(1A)、Y2の3種があります。

Y2(黄色)フィルターを使う場合はASA目盛を1段小さい数字にセットして下さい。

(例えばASA100(SS)フィルムの場合はASA50に)

フィルターを外したら必ず元のASAにし直して下さい。またカラー撮影の時は、Y2フィルターなど色のついたフィルターを使わないで下さい。

UV、スカイライト(1A)など透明なフィルターを使う場合にはASAを変える必要はありません。



Y2 黄色モノクローム色感度補正用
UV モノクローム紫外線カット用
スカイライトIA カラー紫外線カット用

セルフタイマー撮影

セルフタイマーは写真のような市販品をお使い下さい。

レリーズボタンの孔にねじ込むだけで結構です。



被写界深度

固定焦点の項で一寸ふれましたように、レンズの焦点距離の深いということが、どれ程便利であるかを簡単に説明しましょう。

例えば、カメラから違った距離にA・B・C 3人の人の人がいたとします。

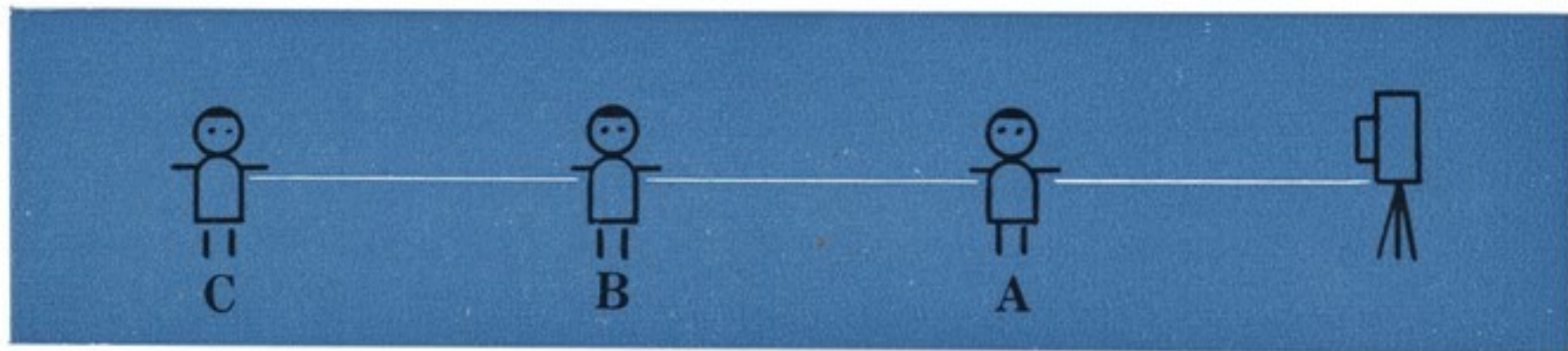
Aにピントを合わせるとB・Cはボケ、Bにピントを合わせるとA・Cはボケル筈です。

しかしこれは理論上のことで、実際にはボケにも程度がありますから、実用上ボケているとは見られないボケを許しますと、この3人の内、Bにピントを合わせた時、AもCもボケないという範囲が考えられます。

この時、BからAまでを前方の深度、BからCまでを後方の深度といいます。

この被写界深度は、レンズの焦点距離や絞りにによっても変わりますので、この範囲が広いことを深度が深いと呼んでいます。

一般に焦点距離が短かければ短い程、絞れば絞る程この深度は深くなります。





オリンパスペン D 焦点深度表

(FズイコーF1.9 f32mm)

(注) 許容するボケの直径を $d/750=0.04\text{mm}$ とした場合)

絞 り	1.9	2.8	4	5.6	8	11	16
距離							
∞	13.47より ∞ まで	9.14 ∞	6.40 ∞	4.57 ∞	3.20 ∞	2.32 ∞	1.60 ∞
5 m	3.67 7.85	3.26 10.79	2.85 21.64	2.43 ∞	2.00 ∞	1.64 ∞	1.27 ∞
3 m	2.47 3.81	2.28 4.38	2.07 5.48	1.85 8.26	1.59 ∞	1.36 ∞	1.10 ∞
2 m	1.75 2.32	1.66 2.51	1.55 2.83	1.42 3.42	1.27 4.96	1.12 11.56	0.94 ∞
1.5 m	1.36 1.67	1.30 1.76	1.23 1.91	1.15 2.15	1.05 2.66	0.95 3.80	0.82 14.00
1.2 m	1.11 1.30	1.07 1.36	1.02 1.44	0.97 1.57	0.90 1.82	0.82 2.28	0.72 3.97
1 m	0.93 1.06	0.91 1.10	0.88 1.15	0.84 1.24	0.78 1.38	0.73 1.62	0.65 2.31
0.9 m	0.85 0.95	0.83 0.98	0.80 1.02	0.77 1.08	0.72 1.19	0.68 1.36	0.61 1.81
0.8 m	0.76 0.84	0.74 0.86	0.72 0.89	0.69 0.94	0.66 1.01	0.62 1.13	0.56 1.42

専用付属品



●ペンスライド
プロジェクター
F2.8 f = 55 mm のワイド
レンズをつけたプロジ
ェクター ¥ 4,600

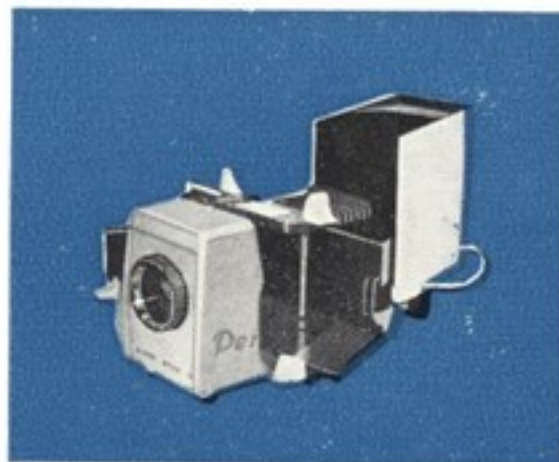
●オートチェンジャー

¥ 1,300



●ガンホルダー
¥ 200

●ペンフィルム
30枚どり
¥ 100



●フィルター
Y 2 ¥ 650
U V ¥ 650
スカイライト ¥ 680



●ペンフード
カメラの鏡筒
に格納できま
す ¥ 500



●ソフトケース
¥ 800
●ハードケース
¥ 1,000

注 意

- カメラは、ホコリと湿気が大敵です。
- レンズに指紋をつけないこと。もしついてしまったらすぐ清潔なノリのついていない木綿布で拭いて下さい。そのままにしておくと、とれなくなります。
- もしレンズに糸状のカビが発生したときは、オリンパスのサービスステーションに、お持ち下さい。すぐ掃除いたします。
- 鉄製の容器に保存したり、ラジオなど磁石のそばに長く置かないで下さい。

オリンパスカメラ
クラブにお入り下さい！

オリンパスには、オリンパスカメラをお持ちの方だけが入れるカメラクラブがあります。あなたの作品の批評・いろいろなお問合わせなどにご利用いただけます。

またカラー表紙で内容がたっぷりつまった“オリンパスフォトグラフィ”を年6回会員に配っております。

ぜひご入会下さい。

サービス・ステーション

東 京	東京都渋谷区幡ヶ谷2の43	オリンパス光学工業(株)本社内	電話(371)5151
	東京都中央区銀座東1の2	オリンパス光学工業(株)銀座営業所内	電話(535)2461
	東京都千代田区神田錦町1の3	オリンパス商事株式会社本社内	電話(291)1721
名 古 屋	名古屋市中区南伊勢町1の8	オリンパス商事株式会社名古屋営業所内	電話(24)5962
大 阪	大阪市南区安堂寺橋通り2の32	オリンパス商事株式会社大阪支店内	電話(261)6071
九 州	福岡市馬場新町68-5	オリンパス商事株式会社九州営業所内	電話(2)3164
北 海 道	札幌市南1条西3	札石ビル5階 オリンパス商事株式会社札幌営業所内	電話(5)3325
北 陸	金沢市西門通58	株式会社越田内	電話(3)0147
広 島	広島市鉄砲屋町5	オリンパス商事株式会社広島出張所内	電話(2)5782



オリンパス光学工業株式会社